

## M-Bus 製品シリーズ

## コンピュータインタフェース

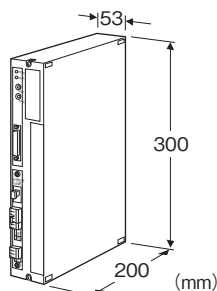
RS-232-C用

## 主な機能と特長

- スーパーDCSやリモートI/Oを上位コンピュータと接続するためのインタフェース
- RS-232-C(無手順)など
- M-BusコマンドとDLC2コマンドの共用データのバッファ機能によりコンピュータのI/O待ち時間が極小
- 文字データ伝送可能
- M-Busに接続されている機器の稼動状態表示あり
- 電源の種類が豊富

## アプリケーション例

- スーパーDCS
- マルチループDCS
- SCADA(設定制御およびデータ収集)



## 形式:DLC2-①-②

## 価格

基本価格 300,000円

加算価格

12V DC電源 +20,000円

24V DC電源 +20,000円

光ファイバ用 +20,000円

より対線-光ファイバ用(リピータ内蔵) +20,000円

## ご注文時指定事項

・形式コード:DLC2-①-②

①、②は下記よりご選択下さい。

(例:DLC2-3-K)

## ①媒体

2:光ファイバ用

3:より対線用

4:より対線-光ファイバ用(リピータ内蔵)

## ②供給電源

## ◆交流電源

K:85~132V AC(許容範囲 85~132V AC、47~66Hz)

L:170~264V AC(許容範囲 170~264V AC、47~66Hz)

## ◆直流電源

S:12V DC(許容範囲 ±10%、リップル含有率 10%p-p以下)

R:24V DC(許容範囲 ±10%、リップル含有率 10%p-p以下)

## 関連機器

- ・リモート入出力ユニット(形式:DLA2)
- ・通信ユニット(形式:SMLM)
- ・リンクアダプタ(形式:DAL4)
- ・ビルダーソフト(形式:SFEW3)

## 機器仕様

構造:壁取付形、前面端子構造

接続方式

- ・RS-232-C:25ピン、Dサブコネクタ(メス形)  
(コネクタ固定ねじ M2.6×0.45)
  - ・伝送ライン:コネクタ形ユーロ端子または光ファイバ用コネクタ  
(適用電線サイズ:1.25mm<sup>2</sup>以下、剥離長 8mm)
  - ・供給電源・RUN接点出力:コネクタ形ユーロ端子  
(適用電線サイズ:1.25mm<sup>2</sup>以下、剥離長 8mm)
- ハウジング材質:ページ色難燃性樹脂  
アイソレーション:M-Bus-電源間  
電源表示ランプ:赤色LED、電源ON時点灯  
RUN表示ランプ:赤色LED、M-Bus正常時点灯
- RUN接点出力仕様(異常時接点開)  
定格負荷:100V AC/30V DC 1A(抵抗負荷)  
最大開閉電圧:120V AC 30V DC  
最大開閉電力:100VA(AC) 30W(DC)  
最小適用負荷:5V DC 10mA

## ■異常監視

- ・CPU異常:ウォッチドッグタイマによるCPUの故障検知
- ・電源電圧異常:CPU供給電源の10%低下検知

## M-Bus仕様

伝送路形態:バス形マルチドロップ

通信規格:TIA/EIA-485-A準拠

伝送速度:125kbps

制御手順:トークン・パッシング(弊社専用)

終端抵抗:内蔵

ステーション番号設定:ロータリスイッチ2個により

00~3Fまで64台分設定可能

## ■伝送部の種類

## ●より対線用

線の種類:CPEV-S 0.9φ

接続:コネクタ形ユーロ端子台

伝送距離:1 km 以下\*1(16台接続時)、リンクアダプタにより10 kmまで延長可能

\*1、M-Bus miniが混在する場合は500m以下  
伝送ラインの終端抵抗:内蔵(伝送ラインの末端以外のユニット  
では、付属のショートチップを取外して下さい。)

●光ファイバ用

光リンクの種類:JIS F07形コネクタ

伝送距離:1km以下

端末処理は専用工具により圧着加工

●より対線-光ファイバ用:より対線と光ファイバとの変換を行う  
と同時に、波形整形を行うリピータ機能を内蔵

## コンピュータ・インタフェース仕様

■RS-232-C仕様

通信規格:EIA RS-232-C準拠

通信方式:非同期式半二重無手順

伝送速度:19200bps

データ長:8ビット

ストップビット:1ビット

パリティ:奇数

RS-232-C ケーブル:クロス形ケーブル(お客様ご用意)

■伝送フレーム仕様

エラーチェック:CRC-16

コマンド:M-BusコマンドおよびDLC2コマンド共用

M-Busコマンド伝送可能データ:プロセス入出力データ、ASCII  
文字、機器保守用データ

プロセス入出力データの上位伝送方式:DLC2のバッファメモリ  
間と通信

## 設置仕様

消費電力

・交流電源:約8VA

・直流電源:約8W(24V DC時 約350mA)

接地:特に外来ノイズの激しいときにD種接地または100Ω以  
下、通常は接地不要

使用温度範囲:-5~+50℃

使用湿度範囲:30~90%RH(結露しないこと)

使用周囲雰囲気:腐食性ガス、ひどい塵埃のないこと

取付:壁取付、取付金具(形式:BX-1DL)によるアングル取付  
も可能

質量:約2kg

## 性能

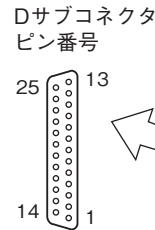
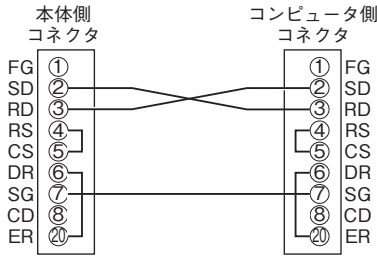
許容瞬停時間:20ms以下

絶縁抵抗:100MΩ以上/500V DC

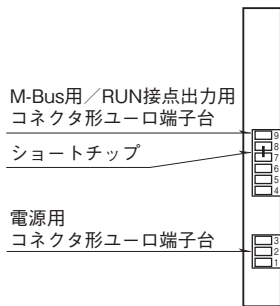
耐電圧:M-Bus-電源-大地間 1500V AC 1分間

パネル図

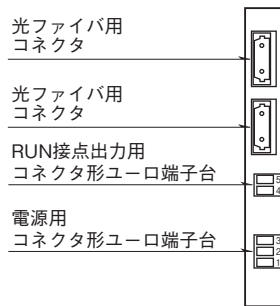
・RS-232-Cの接続例



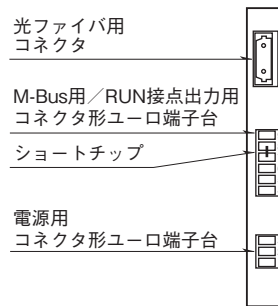
●より対線用



●光ファイバ用

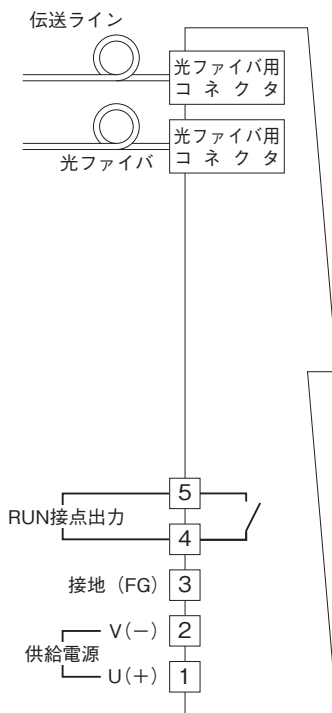


●より対線-光ファイバ用

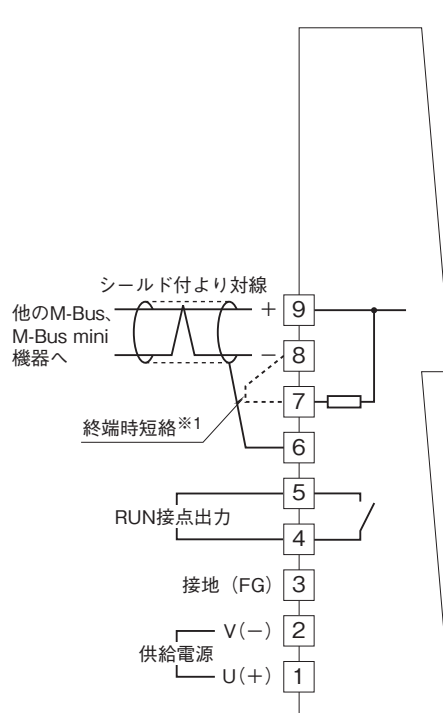


端子接続図

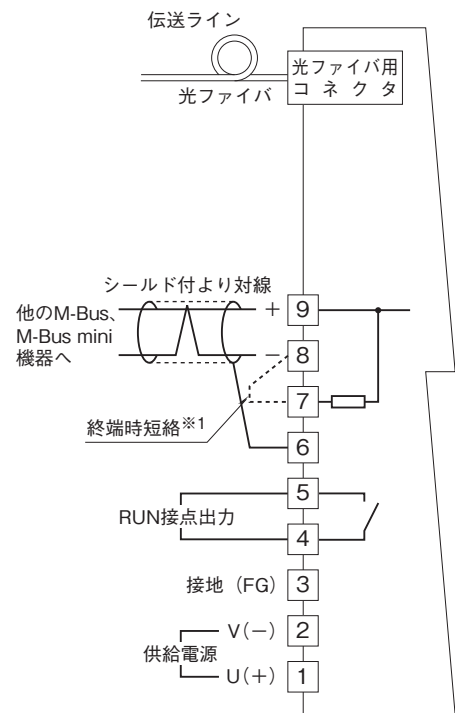
■光ファイバ用



■より対線用

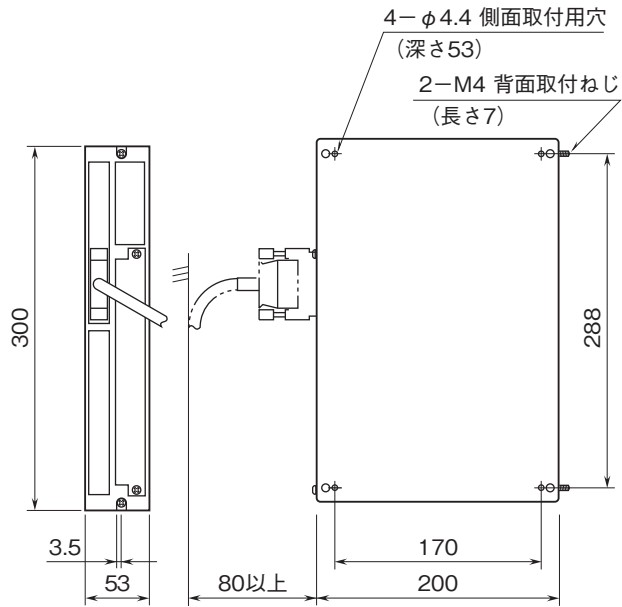


■より対線-光ファイバ用

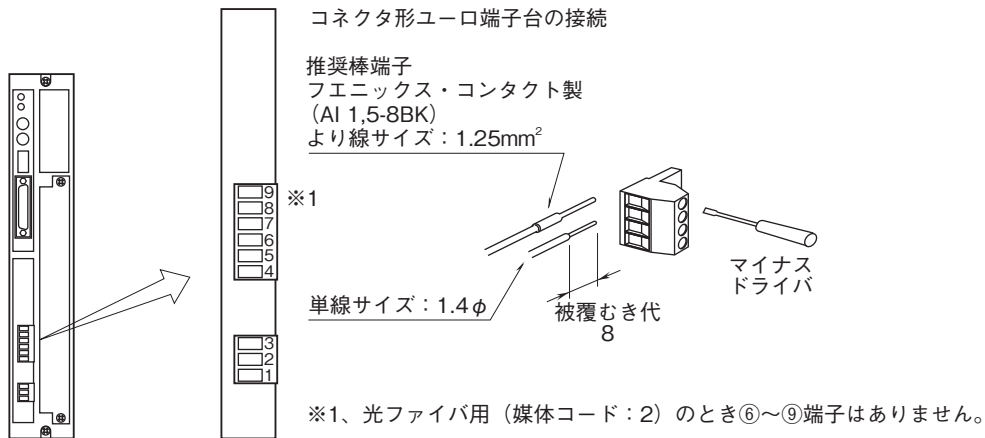


※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は(=渡り配線がない場合)、端子7、8間を付属のショートチップ(または配線)で短絡して下さい。  
 ユニットが伝送ラインの途中に配線されているときは、端子7、8間のショートチップをはずして下さい。

外形寸法図(単位:mm)

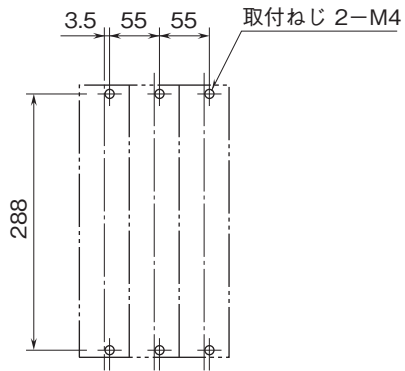


■コネクタ形ユーロ端子台 端子番号図

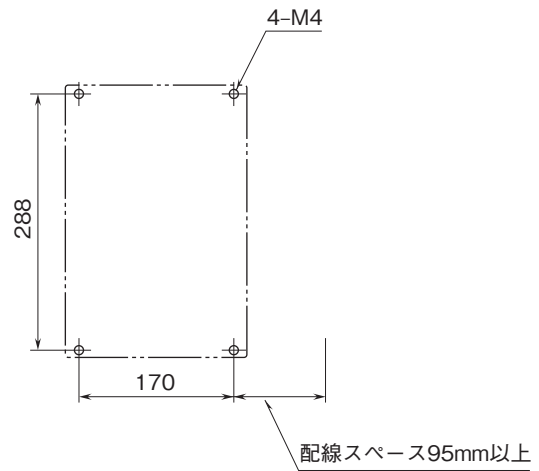


取付寸法図(単位:mm)

■本体直付けの場合



■側面取付の場合 (端子台右側のとき)



機能ブロック図

